

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227
広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781
<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>

平成22年10月(2010年)No.538

いよいよ第50回記念 OMC映像フェスティバル開幕

いよいよ第50回記念OMC映像フェスティバルの開催日、平成22年10月17日(日曜日)が間近かに迫りました。プログラムは例年より多くの1500部を作りましたが、20部、30部、50部と要望がありまして、当日ご来場者へお渡しする予定のプログラムがほとんどなくなってしまいました。会員諸氏がツテを求めてあちこち配って頂いたようで、いつものご来場者に加えて新しい方々の来場者が予想されます。会場は360名位は固定席がありますが、プロジェクタ等の設備等で前部の席が一部使えませんし、席を奥から一杯に詰めてもらうのも実際には難しい面があると思います。ですから会員の皆さん、特に出品者の方には開会後の空いた席への誘導など、できれば小型懐中電灯を持参して頂いて観客の皆様を気持ちよくご案内して頂くようお願いしておきます。

また予想以上の観客数があった場合、3D用のめがねが300人分は井上会員にお世話願っているのですが、3D上映前にお帰りになる来場者から返還をお願いするほか、OMC会員の方は、持っておられない観客の皆さんに自分のを貸してあげて下さる様お願いします。このため、プログラムには無いのですが、3D上映前に7分間の休憩時間をとるように進行プランを変更しました。

東京や千葉、岐阜など遠路お越しく下さる日本アマチュア映像作家連盟の仲間たちもご来場頂けることになりました。

最初で最後の50周年記念映像フェスティバルが大成功裡に無事終了することを祈念すると共に会員諸氏のご協力をお願い致します。

10月例会のお知らせ

10月例会は23日(第4土曜日)午後6時より、いつもの難波市民学習センター(JR難波OCATビル4階)にて開催します。ひと頃の暑さからウソのようにまことに気持ちのいい季節となりました。作品づくりも進んでいることと思います。楽しい例会にぜひいらして下さい。

OMCの大先輩

野村公威さんより便り

8ミリ映画全盛時代、OMC主要メンバーとして活躍されていた野村公威さんから久しぶりにお便りを頂きました。

お便り全文：合原様 OMCフェスティバルが第50回を迎えるとは、伝統あつての快挙ですね。これも会長はじめ、世話役の運営努力と、会員諸氏の団結の賜です。

創立者の竹本正光氏や初代会長の前川一夫氏、名称がOMCになってから作品の向上に指導力を発揮した3代会長の川畑健二氏、4代目会長小倉宝蔵氏、みなさん故人になられても、よくやっさと、笑顔で拍手をおくられることでしょう。

プログラムを拝見して、ハイビジョン作品がずらりと驚きました。皆さんの意欲には圧倒されます。

南支部時代（注：玄光社の全国ビデオクラブ組織でOMCは8番目のクラブで南支部と称していました）の撮影会で、ゼンマイ式の単眼レンズカメラで、並んで撮っていた時代が、まるで夢のまた夢のように、遠くかすんでおぼろに消えていくようで、寂しさと虚しさを感じました。

元気な頃は精神年齢は30でストップ。若者思考で創作に向って独走しましたが、滑って転んで、己の体力の限界に目覚めました。後遺症と同居する身になって、老いを感じるようでは情けない落ちこぼれ、この十月がくれば満八十才、元気であれば百才までと、よたよたしながら独走もできたのでしようが…。

折角のご案内をいただいたのに、映写会で皆さんのハイビジョン作品が拝見できず残念です。でもプログラムから、一作品、一作品と、作者の熱気を感じさせていただきます。

未来志向で若い会員さんの入会を願い、今後のOMCの発展と、作品向上を期待し盛会ならんことを祈ります。

在中のDVDは、過去の作品で14分以下を集めたもの、ご覧になったものばかり

ですが、長年のご厚誼の証として、ゲテモノを揃えました。話のネタにしてくださって結構です。（注：野村氏の作品集DVD2枚が同封されていました。折を見て紹介します。）

パソコンの活用は森さん（注：故・森保信氏）をはじめ、近くのビデオ会員や、ビギナーの方の編集録音仕上げを、ボランティアで協力しておりましたが、転んでから頭の神経を刺激しないようにと、医者から強く注意され、すべてお断りして、いまは映像やインターネットとも絶縁をしております。

たまに絵を描く程度で、静かな余生を、森さんが迎えに来るまで、しばらく待つ所存にて、このお便りを最終便にさせていただきますので、お元気で活躍のほど、夢の中でお会いしましょう。 野村拝

■野村さんはアニメの達人でした

野村さんといえばアニメ、アニメといえば野村さんでした。朝日生命ホールでの発表会ではアニメの新作がほとんどでした。セル版に一枚一枚描いて8ミリでコマ撮りされるのです。一作品で2000枚とか3000枚とか描かれるようで気の遠くなるような大作をよく作っておられました。

ああしたアニメ作品はビデオになってからは見たことはありません。転ばれて頭を打ち、頭脳を要するものはダメと医者にとめられている由で、残念です。亡き森さんとは比較的近いところに住んでおられ、森さんは「野村さんは私の師匠じゃけん」といつも云いながら自宅に呼んで酒をくみかわされていたことを思い出します。

予告

■12月例会日の25日、午後1時より幹事会を、世話役会を3時より開催します。

■1月例会日は例年通り第3日曜16日昼13時より難波市民学習センターで、例会後、総会を行います。

■新年会は例会及び総会後の夕方、17時過ぎから、いつもの5階スーパードライ難

波レストランで行います。予約の関係上い
ずれハガキにて出欠確認いたします。

著作権フリーBGMサンプル 送られてきました

全国コンテスト等で要求される音楽著作
権の問題は、建前として頭痛の種で選曲に
悩みますが、著作権フリー音楽を使ってい
れば何の問題もありません。

このほど、t & K社という会社からサン
プルCDが数枚送ってきました。会員の皆
さんに紹介して欲しいという主旨でした。

イメージとして使えそうな曲もありそう
です。1枚だけなら5250円、3枚セット
なら13650円と、一般のものより少々高
つくのが難点ですが、検討してみたいと思
われる方は会長までお電話ください。サン
プルCD及び申込書を例会でお渡しいたし
ます。

映像発表会

■映像きしわだ・作品発表会

日時：10月23日（第4土曜日）

場所：12時30分 上映13時

OMC例会日の日ですが、早めに切り上
げれば例会に間に合うと思いますので観て
みたいという方はどうぞ行ってください。

■堺・撮れとれ映像祭

日時：10月30日（土）13時～

場所：堺市民会館小ホール

■第14回大阪アマチュア映像祭

日時：10月31日（日）13時～

場所：大阪市立中央図書館5階

■第10回京都アマチュア映像祭

日時：11月3日（水・祝日）13時～

場所：ひと・まち交流館（下京区河原町
通五条下ル東側）

よその発表会を見るのは、作品づくりの上
で大変参考になります。

9月例会レポート

記録づくめの猛暑がつづいていましたが
例会日にはやっと秋の気配を感じる季節に
なりましたが25名の出席者で作品数も猛

暑疲れか10本とやや寂しい例会日でし
た。司会は有村さん、書記は岡本さん、デ
ッキ係に河合さん、江村さん、受付係に紙
本さん、華岡さんの担当で進行しました。

◆出席者：有村、井上、岩井、上田、江村、
岡本、上総、紙本、河合、黒田、合原、進
藤、関、玉井、錦、華岡、藤原、前田、宮
井、宮崎、森下、森田、山本、吉岡、渡辺
の25名でした。（敬称略）

1. 棚田のある村（DV）

合原一夫さん 9分20秒

中国の西南部に位置する雲南省の元陽を
尋ねられた作品です。作者の奥さんのスチ
ールカメラツアーに同行されての撮影のよ
うです。サブタイトルに「ハニ族の集落を
尋ねて」とあるようにカメラは棚田の風景
からハニ族の集落へと入っていきます。カ
メラを向けても嫌がらずに協力してくれる
その様は亜熱帯気候の恵まれた気候風土と
そこに住む少数民族ハニ族の明るく素朴な
人柄と生活観がよくでていた作品になりま
した。日本の一昔前の原風景を思い起こし
ました。

2. よみがえる葭原（HDV）

進藤信男さん 11分36秒

高槻市鶴殿の淀川河川じきに群生する葦
原を守ろうと住民たちの活動の記録映像で
す。このあたりは縁起をかついで葦（悪し）
→葭（良し）から葭原（よしはら）と呼ぶ
のだそうです。春3月の葦の芽吹く時から
夏の覆い茂った情景から一転冬1月の刈り
取り2月のヨシ焼きへと画面は展開しま
す。そしてヨシは、ヨシとオギに分けられ、
ヨシはヨシズや和紙に、オギは雅楽のひち
りきに利用されるようです。最後は葭焼き
で終わりますが葭の芽吹く画面で終わっ
たら良かったと司会者の言葉でした。一年間
よくお撮りになりました。

3. 代行バスのうた（HDV）

前田茂夫さん 10分35秒

余部鉄橋の架け替え工事期間中の平成2
2年7月17日から8月11日まで余部鉄
橋から新橋りょうへの切り替え工事期間中
に代行バスが運行された。この間2回撮影
にいかれました。2回目は最終運行日の日

です。バスの車内の模様など克明に撮られました。余部から浜坂に向かう最終便が闇の中に消えて行く情景。そして折り返し便の浜坂から余部に向かう車内には乗客の老婆がひとり、作者が語りかけます。「どう思われますか」の問いかけに老婆は「寂しいですね」と感慨深かそうな様子が印象的でした。そして翌朝、新コンクリート橋を列車は走りはじめました。また、新しい余部の夜明けなのでしょう。

4. 凍(しば)れる季節(とき) 改作

(HDV) 河合源七郎さん 8分53秒

8月の例会にもってこられた「凍れる津軽」を改作されました。時間も少し縮められてよくなりました。場所も題名からはずされましたが、厳冬の津軽なのでしょう。無数のつららや氷爆、風雪により形つくられたみごとな雪景は、来世の境地を思い起こさせ、BGMがコラボしてすばらしい作品になりました。ツララが全部かたむいてると司会者からありました。しかしお年からみてよく行かれました。脱帽します。

5. 桃尾の滝 (HDV)

渡辺雄史さん 3分50秒

奈良県天理市滝本町にある桃尾の滝は、緑深い山中にある落差23メートルある直瀑だそうです。芭蕉もここを訪れているとか、水の落ち口の岩場は滝行の行場であったであろうか滝の中ほどにお不動さんが祀られている。ナレーションでうまく解説されてつくられました。

6. 初秋の頃～紀州鉄道～ (HDV)

江村一郎さん 6分30秒

紀州鉄道の作品は何作かつくられていますが、今回は初秋編。彼岸花が咲き誇るのかな田園の中を走る一両の電車。たんぼでは稲の刈り取りが始まっています。寺内町として栄えた御坊は、今もその名残をとどめた佇まいが一抹の郷愁を誘ってくれました。もう少し生活感がでていれればと思いました。

7. もう一つのねぶた祭 (HDV)

上田吉巳さん 11分55秒

ねぶた祭といえば8月に行われる青森県のねぶた祭ですが、このタイトルを見た

きねぶた祭の裏方さんを撮られたものかと思いました。

実は、OMCの対馬昭会員が青森県弘前出身でねぶた絵の絵師だったのです。お住まいの大阪でその絵をかいて青森へ送られています。今年の3月から大阪新世界釜が崎の住民の皆さんにボランティアで指導されている対馬さんを撮影されたものです。住民たちは8月12日に行われる夏祭りにねぶた祭をしようと製作がはじまりました。やがて夏祭りの当日、色とりどりのねぶたのパレードなどにぎやかなお祭り風景です。よくまとめられました。映写終了後、対馬会員が絵師だったとはと会員一同驚きでひとしきりでした。

8. なばなの里 (HDV)

吉岡貞夫さん 9分55秒

三重県桑名市長島町にある「なばなの里」を5月に訪れた作品です。AVCHDカメラで撮影されてHDVに変換されました。花のアップがもう少しあればと思いました。でもきれいな画面でした。

9. 彩る葉っぱ (HDV)

有村 博さん 6分57秒

他クラブの課題作品で「葉」をテーマでつくられました。秋の紅葉から画面は始まります。突然冬景色にかわり、そして春さきへ桜が咲き、新緑へと展開します。大変きれいな画面です。

筆者なら紅葉は最後にもって行って枯れ葉でおわりたいと思います。

10. トルコに残るギリシャ遺跡 (HDV)

山本正夢さん 6分40秒

トルコはさまざまな文明がさかえた地であるがこれだけのギリシャ遺跡がのこされていたとは驚きです。克明に撮影されました。このギリシャ遺跡などは、観光化されて管理が行き届くようになったようだが、依然として多くの遺跡は風化の危機にさらされているのが懸念されます。

山本さんには、世界各地の映像をみせていただいて、いつも感動しています。

以上で例会を終え、何時ものように居酒屋組と喫茶組ととに別れて2次会を楽しみました。